

# 二見北小学校区「スクールガード通信」

スクールガード二見北小学校区



## ～第4ブロック会議で学んだこと～

第4ブロック 第1回明石子どもの安全を守る地域連絡会議(2023.6.28)  
(清水小、錦が丘小、魚住、錦浦小、二見小、二見西小、二見北小:司会進行)



「明石市子どもの安全を守る地域連絡会議」第4ブロック(魚住中・魚住東中・二見中校区)今年度会長の二見北小学校長 入江由美子です。従来年2回開催されておりました本会議が、3年間のコロナ禍を経てこの度復活いたしました。資料配布による活動情報の共有でなんとか継続されておりましたが、関係の方々が一堂に会して、各地域での現状を伝え合ったり課題について検討し合ったりできることが、何より有意義で価値があると再認識いたしました。今後も子ども達の安全を守るこの会議を、大切に運営していきたいと思っております。



入江校長先生

**市教委 青少年教育担当:**4月から子ども家庭庁発足、子どもの視点に立って意見を聞き、子どもにとって1番の利益を考える。子ども真ん中の社会を実現すること、まさにSG活動がそれに該当する。

**Q** 警備員減少をカメラ追加で補完し数年が経過、学校の安全は担保されているか？

**A** **青少年教育担当:**現状の警備態勢で安全が損なわれることはない。明石市以外の近隣学校では明石市のように警備員を配置しているところはむしろ少ない。

**Q** **魚住小 SG:**活動者を増やす手だてを各校区ではどのように行っているか？

**A** **清水小 SG:**掲示板は利用しない。該当者名が挙げれば代表が直接本人と面談して要請する、いわゆる1本釣り。

**錦が丘小 SG:**募集形態はとらず基本1本釣り。頼りは高年クラブで地区ごとをお願いしている。

**錦浦小 SG:**まち協の年度初めの会長連絡会で、各自治会長にSGの登録を依頼し、それを受けて自治会長が同会内の役員、高年クラブにSGの登録を依頼している。

**北小 SG:**募集の掲示、回覧では効果がないため基本1本釣りをお願いしている。

**市教委 学校教育課:**2点の教育効果を感じた。①子どもたちが感謝を伝えること。②同時にSGから元気をもらったと「感謝」の言葉を受けたとき、子どもたちには、いわゆる自己肯定感が育つ、このような効果を学校現場で啓発していきたい。



(場所: 二見北小南館 3F 会議室)

**Q** SG活動中の万一事故にあった時のSGの責任問題に関して、その対応に明石市教育委員会と文科省とでは見解に差異がある。

**A** **青少年教育担当:**「活動中の責任問題」について回答したい。実際に事故が目の前で起こったことを想像した時、責任が本当はないかと言われると“そうではない”と思う。市としては事前にマニュアルを渡しているの、それを理解したうえで活動していただければ市として十分にサポートします。安心して活動していただきたい。

年3回の下校時の見守りから毎月の子どもの安全の日に全保護者自由参加の形で見守りを行うことに変更。2011年7月3日に起きた児童3人水死事故を教訓に、今日まで継続している北小の「命の週間」に合わせ、ため池周辺のパトロール+SG協力。11月まち協との環境観察会などを計画している。(北小PTA愛護部:吉田レミ)

昨年1月19日に1年生児童とタコバスとの接触事故があった、特に低学年には注意願いたい。「スクールガードさんの安全通信」を2021年末から発行し今日に至っている。SG活動の様子、子どもたちとの触れ合い、危険個所の状況などを北小HPで広報している。SG活動の「見える化」に踏み切った事例として見ていただきたい。4月からJR土山駅東踏切にある通学路として使用している跨線橋が補修のため全面通行止めとなり、代替ルートとして県道208号線の歩道橋を利用している。行政・学校・SG・PTAが連携、協力しあってその対応に当たったので今のところうまくいっている。(北小SG代表:永田 聡)